

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	2.9
1 音環境						3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.41	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.25	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.17	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.17	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						2.4	0.35		-	2.4
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温						3.0	0.57	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.06		-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.6	0.25		-	3.6
3.1 屋光利用						4.2	0.30		-	
1 屋光率		屋光率2.5%以上である				5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口							-	3.0	-	
3 屋光利用設備						3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.25		-	
1 屋光制御		庇及びカーテン、2種類以上を組み合わせ、グレアを制御する				4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度						3.0	0.16	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.29	3.0	-	
4 空気質環境						3.2	0.25		-	3.2
4.1 発生源対策						3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						2.3	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視						-	-		-	
2 喫煙の制御		ビル全体の禁煙は確認されていて、外部にも喫煙スペースは設けられていない。				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.2
1 機能性						3.0	0.40		-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観						3.0	0.42	3.0	-	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画						3.0	0.58		-	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.5	0.30		-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.25				4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水SUS(C)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、Eは不使用。				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.2	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.25		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.25		-	
3 電気設備						3.0	0.25		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.25		-	
5 通信・情報設備						-	-		-	

3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は3.7m以上確保	4.0	0.51	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率は0.1以上0.3未満である	4.0	0.49	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用(家具の一部・木材等)と空間提供(ひろば)と施設提供(ベンチ設置)に依る地域貢献。	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.1	0.10	-	-	3.1
3 設備システムの高効率化		BEI _m =0.61、LED照明設備を導入。	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.2	0.60	-	-	4.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		基礎地中梁躯体に高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材:廊下、磁器質タイル:エントランスホール、プラスチックデッキ:外部	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材の詳細を採用し、可動間仕切り及びOAフロアも採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率=81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		卓越風向に対する建築物の見付面積比は、40%未満としている	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置き場及び駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設を確保し、導入路に待機スペースを確保している	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	1.00	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.1	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.62	-	-	
2	砂塵の抑制	グラウンドにはクレイ舗装を採用	4.0	0.17	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.22	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	